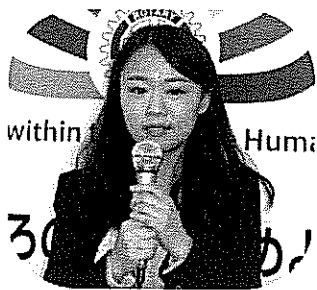


ません。〈会員の質問を受けて〉1つの地域に言語の違う小学校が3つあって、子供たちは自分の好きな学校で勉強することができます。

チン・イチナン様（文教大学生）

皆さん、こんにちは。中国からの留学生でチン・イチナンと申します。初めての訪問ですがよろしくお願いします。私は去年3月に日本に来て、山梨英和大学で1年間の科目履修を経て文教大学大学院へ進学しました。出身は中国です。父が貿易関係の仕事をしているため日本との関わりがあり、小さい頃から日本のことを聞いてたいへん興味がありました。また、日本は中国と同じ漢字を使っていますので文化的にもとても近いと思います。文教大学では言語文化研究科に属し、第二言語習得について勉強しています。中国の日本語教育は文法中心ですので、卒業後は中国へ戻り、言語だけでなく日本の文化や生活についても学生に伝えるような日本語学校を始めたいと思っています。



幹事報告

川口孝之副幹事

- 越谷青年会議所より、埼玉ブロック大会出席の礼状が寄せられています。
- 地区より（1～7）
- 地区東日本大震災復興支援チームより「就職応援プログラム就職面接会開催の案内」がきています。
日 時：平成23年12月2日（金） pm1:00～4:00
場 所：福島看護研修センター みらいホール
- IMクラブ負担金は1人8,000円です。（IM・合同新年会）
- 「米山記念奨学部門カウンセラー感謝の集いの案内」がきています。
- 「第24回インターアクト協議会及び韓国訪日団歓迎会の案内」がきています。
日 時：平成24年1月8日（日） am10:00点鐘
場 所：戸田市文化会館
- 「東日本震災復興基金寄付受入延長の案内」がきています。
- 「タイ洪水被害に対する義援金のお願い」がきています。
- 例会変更の案内
越谷南RC
11/24（木）例会→12日（土）・13日（日）地区大会へ振替
12/15（木）例会→17日（土）
クリスマス家族親睦夜間例会のため
越谷RC
11/29（火）例会→23日（水）IMウォーキングへ振替
12/20（火）例会→同日 pm6:00点鐘 東武ホテル
クリスマス家族夜間例会のため
- 前年度IM年次報告書が送付されています。
- 池田玄一氏（越谷南RC）のご尊父様が逝去されました。
- 埼玉テレビで地区大会における新世代の紹介が放映されたとのことです。

委員会報告

- IMウォーキングについて 山下良雄委員
当クラブのIMウォーキング参加者は5名、よろしくお願いします。
- 地区大会について 大野 弘委員
・瀧田さん（地区増強委員）から冊子（ロータリーの基礎知識）をいただきましたので新会員を中心にご覧ください。
・財団寄付並びに米山寄付をよろしくお願いします。
- スマイル報告 小池和義社会奉仕委員
・先々週の地区大会、出席ありがとうございました。文教生の皆さん、ようこそ。食文化交流会ではよろしくお願いします。 仲 文成
・文教大学の4名の皆さん、本日はようこそ。国際食文化交流会ではよろしくお願いします。また、明日の越谷市内ウォーキングもよろしくお願いします。 山下良雄
・文教生たちのこと、よろしくお願いします。 近藤 功
・お客様、ようこそ。 森 紀二
太田洋寿、武藤正雄、川口孝之、宮坂真志、小池和義

小計 10,000円

■出席報告

宮坂真志委員

会員数	出免除	出席数	欠席数	MU	出席率
15名	1名	11名	2名	2名	86.66%

*前回出席率 85.71%

- 地区大会の報告 仲 文成会長
地区大会2日目（13日）は午後1時～8時までのスケジュールで行われ、県知事代理、春日部市長の挨拶から始まってRI会長代理の話、そして新世代プログラムとしてインターアクト・ローターアクトによる出し物、記念講演がありました。また、全国大会2位の輝かしい実績を持つ豊春中学校混声合唱団による素晴らしい合唱が披露されました。新会員にとってはいつもと違った雰囲気の中でロータリーを勉強していただけたのではないかと思います。

ロータリージャパンより — 職業を通じた活動 —

「職業奉仕」という言葉は耳慣れないと思いますが、ロータリアンたちが一番大切にしていること、それが「職業奉仕」です。ロータリークラブは、企業経営者、専門職といった職業人の集まりです。会員は、それぞれの職業を代表してクラブに入会します。従って、会員候補者は、その時点で既にその職業において高い見識と業績を積み上げてきていますが、そういった人々が集まって切磋琢磨し、さらに職業倫理の向上に努める、というのがロータリーにおける職業奉仕の基本です。また、自らの企業や専門職に関する知識や技術の向上と発展、顧客満足、従業員やその家族に対する責任、社会に対する責任など、例会をはじめとするさまざまな機会ならびに奉仕活動を通して互いに学び合い、自らの職業において実践すること、これも職業奉仕です。

「四つのテスト」は、ハーバート・テラーというアメリカのロータリアンが、ある企業の再建を引き受けたときに考えた企業の倫理的指針です。彼は、これによって見事にその企業の再建を果たしました。それ以来、ロータリアンたちに職業倫理の指針として広く愛用されています。さらに、職業奉仕には、自らの職業や職業における専門知識を通して、地域社会や国際社会に貢献するという考えも含まれています。